

アーバンフューチャーズ広島 2026 の開催効果等について

1 要旨・目的

アーバンスポーツ大会「アーバンフューチャーズ広島 2026」の開催効果等を報告する。

2 現状・背景

アーバンスポーツは、若者を中心に高い集客力があり、スポーツの枠を超え、観光、地域経済の活性化にもつながるなど成長が期待できることから、広島の新しいブランド価値を生み出す重要な取組として、県はこれまで大会開催に向けて取り組んできており、令和 8 年 4 月 17 日～19 日に、アーバンスポーツ大会「アーバンフューチャーズ広島 2026」を開催した。

今回、主催者が、来場者へのアンケート調査等を基に大会の開催効果等を検証したため、報告する。

3 概要

(1) 参加選手数

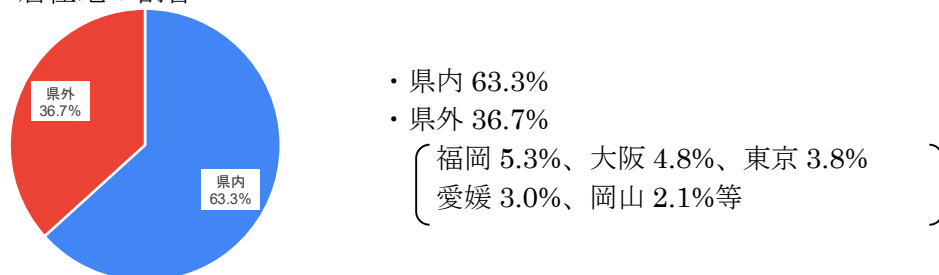
753 名 (2025 大会 : 616 人)

(2) 総来場者数

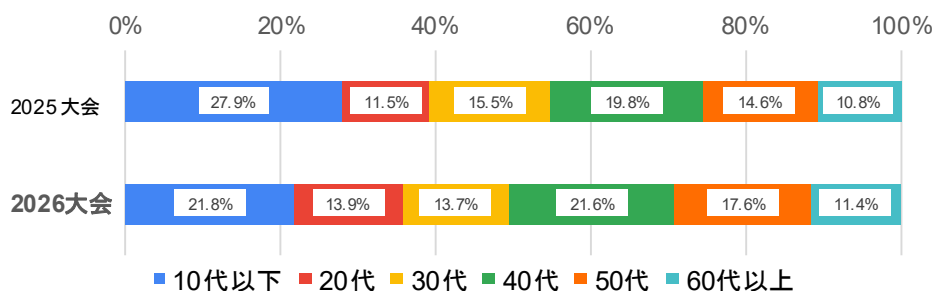
76,963 人 (延べ人数) (2025 大会 : 51,040 人)

- ・ 県外来場者の割合は 22.7% から 36.7% に増加した。【図 1】
- ・ 幅広い世代の来場があったが、特に 40 代以上の来場者割合が 45.2% から 50.6% に増加した。【図 2】
- ・ 来場者の 81.7% が 2 名以上で来場しており、子供や配偶者など家族との来場が多い。

【図 1】居住地の割合



【図 2】年齢別の割合



(3) 大会満足度

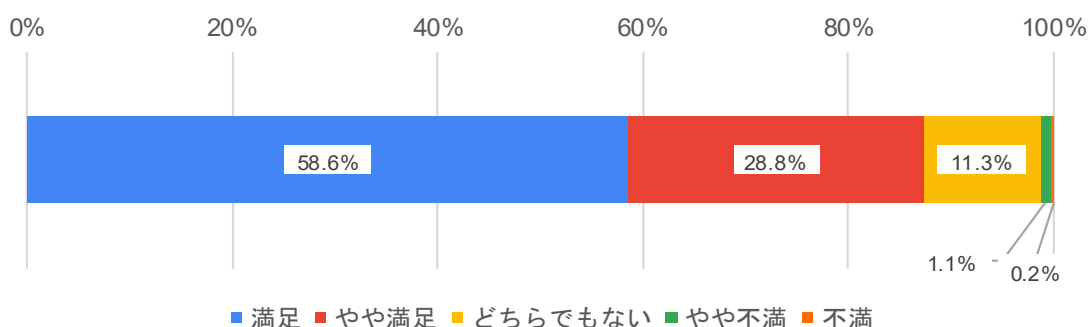
87.4%（2025 大会：90.5%）

- ・ 大会全体について、「満足」「やや満足」の回答が 87.4%を占めた。【図 3】
- ・ 来場者の 9 割強は、再来場の意向を示している。【図 4】

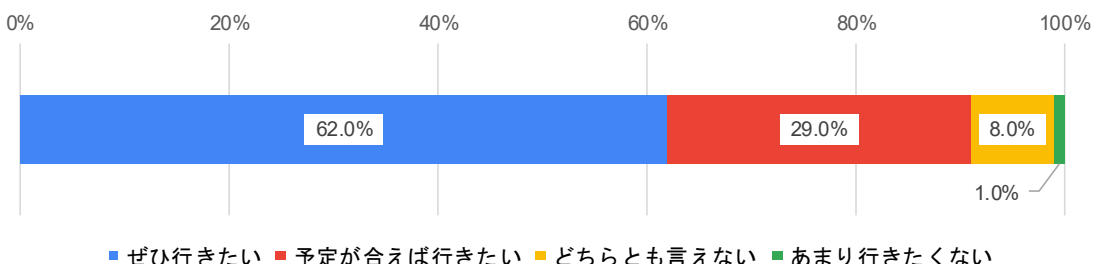
（アンケート回答例）

- ・ 日本トップクラスの選手たちの迫力あるプレイが観られた。
- ・ 普段観られない競技を観られるのが新鮮でいい経験になった。
- ・ 色々なスポーツを一度に観られるのがいい。
- ・ 周辺に観光地がたくさんあるので飽きずに楽しめてよかった。

【図 3】 大会満足度



【図 4】 再来場意向



(4) 経済波及効果

約 6 億 4 千万円（2025 年大会：約 3 億 3 千万円）

全体の来場者数が増える中、消費額単価の高い県外の来場者が増加したことにより、全体の経済波及効果額が約 3 億 1 千万円増加した。

（単位：百万円）

区 分	2025 大会	2026 大会
県内来場者による効果	87.0	104.8
県外来場者による効果	241.0	527.3
合 計	328.0	642.1

4 今後の対応

開催効果等を踏まえ、次回大会開催に向けて引き続き関係者と調整を行う。

【参考】アーバンフューチャーズ広島 2026 の概要

1 実施主体

(1) 主催

アーバンフューチャーズ広島実行委員会

(2) 共催

一般社団法人日本アーバンスポーツ支援協議会、公益財団法人日本体操協会、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟、一般財団法人日本ジャンプロープ連合、一般社団法人日本スケートボード協会

2 実施期間

令和8年4月17日（金）～19日（日）

3 場所

ひろしまゲートパーク（広島市中区基町5-25）

4 種目

ブレイキン、ダブルダッチ、スケートボード、パルクール、3×3バスケットボール

5 協力

広島県、広島市

6 特別協賛

イオン株式会社

7 入場料

無料

8 公式ホームページ

<https://urbanfutures-hiroshima.jp>

【アーバンフューチャーズ広島 2026 当日の様子】



ブレイキン



ダブルダッチ



スケートボード



パルクール



3×3バスケットボール